

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	先端社会研究所
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものである
要素	教育研究組織の編制原理
	理念・目的との適合性
	学術の進展や社会の要請との適合性
	(KG1) 研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価(2010.5.1~2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度~2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA~Dの4段階とし自ら評価した。A~D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 研究所の活動理念としてresearchとempowerment、実践目標としてNetworking, Education、活動事業としてarchive, publication, workshop, S-cubeをそれぞれ置く。	→運営委員会による研究所の活動計画・実施状況・成果発表に関する評価の実施。	B	B			
2. 学部・部局横断的な研究・教育体制のもとで、「共生/移動」「景観/空間」「セキュリティ/排除」を三つの柱として関学らしい学際的な研究業績の発表を目指す。	→リサーチコミティをはじめ複数学部・研究科に所属する教員による研究体制・グループの構成状況の内訳。「ミッションステートメント」に適った研究の実施状況。	C	C			
3. 海外との学術ネットワークの構築に基づき、「共生/移動」「景観/空間」「セキュリティ/排除」に関する国際的な研究組織・体制を確立する。	→海外との研究教育機関との協定/協力関係の状況(実施件数)。研究者の海外からの受入れと海外への送り出しの実施状況(実績数)。	C	C			
4. 国内の関連する諸機関・組織との協同体制の確立に基づき、「共生/移動」「景観/空間」「セキュリティ/排除」に関する学際的かつ実践的な研究体制を確立する。	→大学外の諸機関・組織との学術交流・研究活動の状況(研究会・交流会の実施回数等)。ワークショップやSキューブの開催・実施状況(実施回数、共催相手数、等)。	B	B			

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価 (2)】改善すべき事項		注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。
小項目4.0.1		
★小項目4.0.2		
その他		
《次年度に向けた方策(2)》改善方策		注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。
小項目4.0.1		
★小項目4.0.2		
その他		

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価専門委員会の評価＞

- 全学的な研究体制で運営されていること自体は重要なことですが、これだけの研究が行われるのですから、必要に応じて外部の資源を利用することが考えられるのではないのでしょうか。
- 目標に対して進展していると思われます。
- 世界的研究拠点をめざす研究所としては、国際的な学術ネットワークの構築が重要となります。この意味で「目標」の中に「国際的な研究組織・体制を確立する」ことが設定されたのは大いに評価できますが、進捗評価が「C」になっています。「改善すべき事項」の中で現状や課題、方向性について具体的に記述することが望まれます。
- 現状説明は数字も示され具体的です。また、検証も定期的に行われています。
- 設定された目標の進捗と達成に期待します。

【大学基準協会・評価に際し留意すべき事項】

- 小項目4.0.1
基盤評価：なし
達成度評価：「教育研究組織が、当該大学、学部・研究科等の理念・目的を実現するためにふさわしいものである」
- 小項目4.0.2
基盤評価：なし
達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育研究組織の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★	「進捗評価」が「C」の事項については、次年度の記述では、より具体的に記述するよう改善する。
---	---